

# 令和4年度 事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 ミャンマー ファミリー・クリニックと菜園の会

## 1 事業の成果

平成24年6月特定非営利活動法人として設立されたこの会は「ミャンマーの無医村に、医療・菜園を通じ保健衛生・栄養などを学ぶ機会を提供し、彼ら自身が生活環境の課題を解決し、命を育む未来を描ける社会の実現をサポートする」ことを目標に活動している。ミャンマーにおいて選定した活動地エーヤワディ管区ミャウンミャタウンシップの12の村で平成27年1月から巡回診療を開始した。その活動は今年度保健衛生指導に主軸を移し、16の村へ拡大している。保健衛生指導は令和4年4月1日から令和5年3月31日までに18回、延べ1088人の受診者を得、病人の搬送はなかった。前年度に比し、保健衛生指導の回数は激減しているが、反面、受診者数が約2倍へと増加している。その理由として、令和3年2月1日にミャンマーで勃発し、現在も続いている国軍によるクーデターのため、住民が医療従事者へアクセスが殆ど不可能になったことが考えられる。そしてこの事態のNGO活動への影響は計り知れない。ミャンマーへの送金規制などミャンマー国内でのNGOの活動を妨げている。コロナ感染前は25団体が活動していたが、現在はMFCGを含め約6団体のみが継続活動している。武装地域など危険が伴う地域での活動は停止せざるを得ない状況でもある。当会は、令和3年2月1日のクーデター後、セキュリティを慎重に考慮し、現在、12村でしか行っていない。ヘルストークの内容は、MFCGが普段から伝えていたバランスの良い栄養をとる大切さや手洗いなどの保健衛生啓蒙活動が含まれており、常日頃からの予防の重要性が際立った。住民の中にはMFCGの活動の必要性を再認識してくれた人もいた。さらに、40度以上になる4月5月の暑季に熱中症にならないようにするために脱水予防のためのORSの作り方などを3月の時点で指導を開始した。MFCGのミッションである住民の自立(自律)を啓蒙する一貫として、育成した各村での地域保健推進員(CHP)もMFCGのメンバーの一員として彼ら自身が保健衛生の大切さを住民に広めている。彼らは自分たちで村ごとに目標を掲げ、それを達成するにはどうすればよいか?など毎月、必ずミーティングを行い、改善策を練り、実践につなげている。例えば、トイ村のCHPの今年度の目標は、生活環境整備であり、ごみが一つもない村の衛生環境の充実であった。村にごみ箱を設置したり、各家庭に個別のごみ箱の設置を村中に呼びかけるなどし、全151世帯(100%)にごみ箱は設置された。

また、菜園に関して、16の村のうちモデルケースとなるトイ村において2019年からコミュニティガーデンを構築し、活動を進めていたが、2022年にコミュニティガーデンの場所を10m移動したため、菜園への水の確保が難しくなってしまった。この現状の打破のために、コミュニティガーデンメンバーと何度も協議を重ね、最終的に農地用の水タンクの設置を行った。コミュニティガーデンメンバーと村の住民が協働し、3月22日完成し、開始式を3月31日に施行した。このタンクの設置の水の供給により、植えた野菜(空心菜・オクラなど)は毎日食べきれないほど採取可能になった。しかし、ダボチョン村でのMPOFPは進まず、参加人材の確保に支障が出ている。特別活動として、MFCGの活動地ミャウンミャではなく、エーヤワディ地域ラプタ区のシュエパゴン村、全43世帯で2月10日から安全な飲み水の提供のための井戸堀作業のためのミーティングを開始した。この村は以前MFCGと一緒に活動していたミャンマー人Dr. イーイースーカイン医師の親戚が住んでいる村であり、約70年間汚い川の水を煮沸して飲み続けている村でもある。命を育み、夢を繋ぐことを使命としているMFCG。そのことを考慮し、今回の活動地域外での安全な飲み水の支援に踏み切った。状況が不安定な中でも、活動は継続して行われており、日本では、コロナの前まで開催していた“MFCG年に一度の報告会”を無事オンサイトとオンラインで開催することができ、約100人のご支援者さまが参加してくださった。また、京都・大坂など関西地方を中心に西日本でご支援者

さまとの交流会を開催し、さらに、秋田や盛岡などでもご支援者さまの応援を頂き講演会を開催することができた。令和4年度の全資金の80.08%を活動費に活用することができた。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
A) 国際協力および海外事情に関する情報収集ならびに調査研究と報告事業	1. ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動	令和4年4月1日-令和5年3月31日 計81回	ミャンマーエーヤワデア管区ミヤタウンシップ	4人~5人	1088人(HE)	4765
	2. 活動報告会 (MFCG参加イベント, MFCG年に一度の報告会など)	3月25日(土)	オンサイトとオンライン	20人	約100人	
	3. MFCG ナイト(支援者との交流会など)やご支援者さま宅での講演会など	6回	ZOOM(オンライン上)とオンサイト	2人	約20人/回	
	4. 活動啓発活動(参加イベント・インタビュー雑誌掲載など)	令和4年奇数月掲載寄稿文計6回	鎌倉朝日新聞	1人	不特定	
		埼玉県人会寄稿文1月号	埼玉県人会	1人	1,000~13,000人	
		ミャンマー ジャポン5 月から毎月 号		1人	不特定	
		オルタナ寄稿文隔月		1人	不特定	

B) 社会的に困難な状況にある人々に対する医療を通じた問題解決支援事業	1 ヘルストーク(保健衛生) 啓発活動	令和4年4月1日-令和5年3月31日	ミャンマー エーヤワ デ イ管区 ミヤ ウン ミヤ タウン シップ	約4~6人	1088人 (HE)	4935
		令和5年2月10日	シェエパ ゴン村 井戸 掘り事業	25人	約157人	
		令和5年2月13日~3月31日	トーイ村 農地への 水 タンク 設置 事業	28人	約151人	
C) 災害その他の緊急事態に対する救護、復興支援および防災事業	1、水害被害への緊急物資支援	該当事項なし				0
D) 食料自給に関する技術支援ならびに共同生産事業	1 専門家と連携した有機作物栽培の講習と実践	定例会(コミュニティ ガーデン ミー ティング・その他)	ミャンマー エーヤワ デ イ管区 ミヤ ウン ミヤ タウン シップ	3人	151人	4011
			主にトーイ村 ダボ チョン 村の MPOFP	3人	83人	
E) 生活向上をめざす人々が作る生産物の普及または紹介を通じた雇用創出事業	1 専門家との連携した有機作物栽培の講習と実践	同上	同上	3人	234人	3300

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)